

第 15 回 リデュース ヨコハマ R 委員会 議事録

日時：平成 29 年 6 月 28 日(水)

10：00～11：40

場所：松村ビル本館地下 1 階会議室

出席委員：20 名

1 開会あいさつ（政策調整部長）

いつもは最後に挨拶させていただいているが、前回 3 月の委員会でも話したとおり、私ども事務局の課長、係長に異動があり、その紹介を兼ねてあいさつさせていただく。（新任の 3 R 推進課長と 3 R 推進課担当係長を紹介。）今年度は、ヨコハマ 3 R 夢プランの第二期推進計画が最終年度を迎える。計画自体は 16 年間と長いものだが、その折り返し地点に差し掛かっている。次の第三期計画を描いている段階。委員長も委員である廃棄物減量化・資源化等推進審議会の小委員会で、色々な材料をご提示してご審議いただいている。時期がきたら、この委員会でもお示ししてご意見をいただくことがあると思う。議題については、前回に引き続き、3 R 夢パートナー・サポーター制度改善について、委員のお力添えで新たなプロモーションをさせていただいた件、委員から食品と包装の関係についてなど、内容が盛りだくさん。議事の中からみなさまにご意見いただければと思う。

2 委員長あいさつ（委員長）

6 月は環境月間。今年度の環境月間の目標は、低炭素社会・自然共生社会・循環型社会の形成と安心安全の確保に向けた取組、東日本大震災・熊本地震からの復興・創生の推進。この低炭素社会・自然共生社会（生物多様性）・循環型社会という問題と安全安心というのは、大震災以降、国が掲げている持続可能な社会の定義そのもの。この委員会は特にその中でも 3 R 推進。資源循環型社会のためだけでなく、燃やすごみを減らすということは CO2 削減につながり低炭素、熱心に取り組んでいる生ごみを減らす、いわゆる食べ残し等を減らすという取組は、まさに生物多様性との連動であって、今日これから話すことも 3 R のことだけでなく、広く低炭素とか生物多様性にも繋がる。生物多様性などの問題は分かりにくいので、ここで取り組んでいる市民目線や事業者目線でのアイデア出しは、資源循環社会に重要なこと。引き続き活発なご意見をいただければと思う。

3 議事

(1) 委員の改選について

事務局より交代のあった委員を紹介。一言ずつあいさつ。

(2) ヨコハマ 3 R 夢プラン推進について

・事務局より資料 1 のとおり説明

【主な質疑応答・意見】

委員：目標の 4.5%には届かなかったということだが、家庭系のごみ量は 4.6%削減しているので目標達成になるのか。事業系が 4.2%ということで、昨年度の課題としては、事業系はもうちょっとがんばれということか。

事務局：基本的にはそういうことだが、事業系のみなさまも十分削減していただいている。資源化量が 124%増になっているが、これは中身が木屑とか生ごみのリサイクル量で、従来はごみとして燃やしていたものをリサイクルしていただいた結果。資源化量が増えることはマイナスと考えていない。このごみ量と資源化量の考え方はいろいろあるが、次期推進計画の中で整理できたらと考えている。

(2) 3R夢パートナー・サポーター改善案について

- ・事務局より資料2のとおり説明
- ・前回に引き続いての議題。前回の会議ではさまざまな意見を出していただいたが、そもそも制度の目的・役割がはっきりしなかった。その後各委員へ実施したアンケートを取りまとめ、事務局から改めて改善案を提示するという前回からの流れ。

【主な質疑応答・意見】

- 事務局：前は3R夢パートナー・サポーターにフォーカスしたが、これを活性化するには、その仕組みの基である「ヨコハマRひろば」ホームページの魅力をアップしなければいけないと考えた。Rひろばが目指す姿4点について、各委員のご意見をいただき、再構築を進めて行きたい。次回の議題に挙げるかどうかは相談だが、順次進める中で意見をいただき改善を進めていきたい。
- 委員長：資料を見ると3R夢パートナーとは、3R活動についてのコミュニケーターではないか。情報発信をする場として、Rひろばを活用したいという内容かと思うがご意見はないか。
- 委員：区連会からきているが、すでに自治会でいろいろやってもらっている。改めて、(地域に入って)3R夢パートナーにどういうことをやってほしいのか。パートナーになったらどういうメリットがあるのか知りたい。また新たにこういうことをやってもえませんかとなると人参がないと動かない。新たに立ち上げる気持ちでやらないと周知できない。
- 委員：資料に「Rひろばから必要な情報を得られ」とあるが、必要な情報のニーズはどのようにリサーチをしているのか。また、(パートナー等が)発信する仕方はどういう仕組みを考えているのか。
- 事務局：現状のホームページでは発信できない。今後、インスタグラム等のSNSとの連携を含めて検討し再構築していきたい。補足になるが、アンケートの意見にもあるが、トップページの見にくさ、サイト構成のわかりづらさを含めて、より分かりやすいページにしたい。外部サイトという位置づけなので、行政のページよりは柔らかい表現のページにしたい。
- 委員長：自治会で同じような取組を行っている環境事業推進委員と3R夢パートナーとの役割・関係性はどうか考えたらいいか。
- 事務局：市の行政として、地域と一緒に取組は基本。自治会町内会組織は、その基本中の基本。自治会町内会の中で環境事業推進委員の役割を持った方々のごみ出しのことや集積所の管理など日頃ご苦勞の中、地域の環境を守っていただいている。ただ、3Rを進めて行く上で、もう少し個人の生活や事業活動に入っていないと解決できないものもある。そういう新しい課題については、3R夢パートナー・サポーターという柔らかい仕組みの中で一緒に活動していくという位置づけで考えている。これまで通り地域とは一緒に活動していきたいし、この3R夢パートナー・サポーターという制度がしっかりしたら、自治会等に紹介して一緒に活動していきたい。ただ、個人的な意見としてまだまだ制度として紹介できるレベルでない。
- 委員長：(資料にRひろばの)機能を整理してもらっているが、それをどう置くかによって評価も違ってくる。多面的に考えていかなければいけない。
- 委員：事務局としていつ頃までに改善して新しいものを立ち上げたいと思っているのか。ホームページの改善は文字だけだと議論しづらい。少人数で話し合うのか。事務局が案を出されるのか、これで終わりなのか。
- 事務局：来年度にはこの改修をやりたいと考えている。今年度出来ることはすぐ対応していきたい。来年度のホームページ大改修の部分については、みなさんのご意見をいただき進めていきたい。
- 委員長：色々都合はあると思うが、この委員会も回数が限られている。次、秋ではもったいない。予算化して改修するならば、本当に活かそうと考えているならば、市民の方から意見を集

めたり、また熱心な委員の方に集まっていただいて進めないと。引き続き、市民委員、事業者委員の方から情報を集めて事務局で進めてほしい。

(4) まるごと旬野菜レシピ集活用事例の紹介について

- ・事務局より資料3のとおり説明
- ・委員のご協力を得て実現。今後、定期的にこの取組を行っていく予定。

【主な質疑応答・意見】

委員：このイベントは事前にメール等で各委員に伝達したのか。見に行きたかった。

事務局：Rひろばのブログでは事前告知したが、委員のみなさまへお知らせはしていなかった。

委員：委員の方が動かされたことが他のメンバーに知らされていないのは残念。委員の皆さんの思いを（事務局が）つないでほしい。

(5) 情報交換

ア 委員より「食品と包装の関係」（資料4）についての発表

- ・農林水産省公表の「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」資料の回覧
- ・日本包装技術協会主催で、上記事例集について農林水産省から講師を招き研究会開催の案内

【主な質疑応答・意見】

委員：生分解性プラスチックに関心はあるが、容器包装全体で30%占めているのか

委員：プラスチック容器の中の30%を占めている。あとの70%は石油由来。

委員：生分解性プラスチックは土の中に埋めたら戻るのか？

委員：戻る。戻るが通常のごみで出している方が多い。

委員：パッケージから分かるのか。

委員：使っていればパッケージに表示している。特にプライベートブランドは多い。

委員長：コストは掛かるのか。

委員：コストは高い。そこが広がらない一番の理由。食品会社からすると包装はコスト削減対象にされやすい。

委員：トウモロコシを使うのか。

委員：トウモロコシのでんぷんから作る。食用のトウモロコシの需要と供給のバランスで価格が決まってくる。

イ 委員より「びんリユースシステム横浜モデル概要」についての報告

- ・昨年度環境省のモデル事業で実施して分かったことが3つある。リユースびんの刻印は認識できるが、リユースびんの意味を正しく理解している人はその半分しかいなかった。びんをリユースする文化が日本人になくなりつつある。
- ・プロモーションのやり直しを考えている。地産地消のキーワードと一緒にこのリユースびんを使っていきたい。横浜の地場の野菜や果物を使ったドリンクを作ってクローズ市場でプロモーションを行い、リユースびんの価値を広めて行きたい。今年度も環境省の支援事業補助金の公募にエントリーをした。採択されれば、ある程度の本数を作って進めて行く。
- ・「RDリサイクルデザイン」（席上配布）の紹介

4 その他（情報提供等）（事務局）

以下、資料配付のみ。質問等あれば事務局まで。

- ・WWF ジャパンと食品ロス削減をテーマとした紙芝居の共同制作について（資料6）

- ・イオンとの簡易包装推進キャンペーンについて（資料7）
- ・生ごみブレンドプロジェクトリーフレット
- ・横浜市資源循環公社開催のイベントチラシ

事務連絡

- ・年度初めにつき謝金の口座振込依頼書の提出のお願い。辞退する場合もその旨お申し出のお願い。

5 閉会あいさつ（3R推進課長）

- ・長時間にわたり、ありがとうございました。
- ・3R夢パートナー・サポーター改善については、いろいろ厳しい意見をいただいたが、制度をもう少し分かりやすく、役割の部分でも行政の意思を出しながら事務局として整理していかなければならない。いただいた意見を踏まえてしっかり取りまとめていきたい。
- ・まるごと旬野菜の活用事例については、イトーヨーカドー発行の本に7割の方がスーパーに来るときに献立を決めていないとあった。そういう点から考えると、クッキングサポートコーナーでレシピを配るのは有効で、可能性のある取組だと考えている。例えば地産地消の視点を取り入れながら、更に深めて展開していきたい。
- ・委員からのお話ありがとうございました。包装には様々な役割があり、様々なニーズから作られていること、技術開発がなされていることが分かった。行政としても発信していければと思う。
- ・委員からの発表もありがとうございました。昨年を引き続いて、我々としても関わりながらバックアップしていければと思う。
- ・これら皆様の行っている取組について、事務局としてしっかり発信していきたい。
- ・今年はあと2回会議を予定している。またそれ以外にもお知恵をいただくことがあると思う。この一年よろしく申し上げます。

第15回 ヨコハマ ^{リデュース}R 委員会

日時：平成29年6月28日(水)
午前10時から
場所：松村ビル地下1階会議室

次 第

- 1 開会あいさつ
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 委員の改選について
 - (2) ヨコハマ3R夢プラン推進について 【資料1】
 - (3) 3R夢パートナー・サポーター制度改善について 【資料2】
 - (4) 「まるごと旬野菜」レシピ集活用事例の紹介 【資料3】
 - (5) 情報交換
 - 食品と包装の関係について 【資料4】
 - びんリユースシステム横浜モデルについて 【資料5】
- 4 その他（情報提供等）
 - WWFジャパンと食品ロス削減をテーマとした紙芝居の共同制作 【資料6】
 - イオンとの簡易包装推進キャンペーン記者発表資料 【資料7】
 - 生ごみブレンドプロジェクトリーフレット
- 5 閉会のあいさつ

次回会議は11月開催を予定、詳細は別途ご連絡いたします。
※場所は、松村ビル地下1階会議室です。

ヨコハマR(リデュース)委員会資料
平成29年6月28日
資源循環局政策調整課

ヨコハマ3R夢プランの推進について

1 平成28年度のごみと資源の総量の状況

「ごみと資源の総量」は平成21年度に比べ、4.2%減少しましたが、目標の4.5%には届きませんでした。着実に減少傾向が続いています。これは、市民・事業者の皆様のご環境意識の高まりの中、ごみや資源の発生抑制(リデュース)の広まり、分別・リサイクルの定着や様々な取組によるものであると考えられます。

平成28年度のごみと資源の総量(推計値)

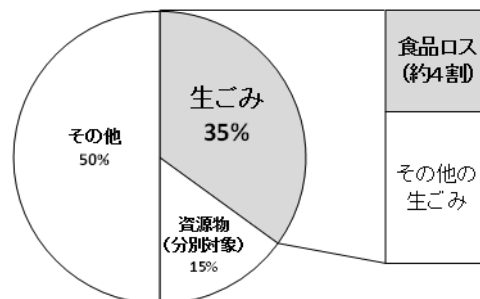
	ごみと資源の総量 【単位：トン】						
		家庭系			事業系		
			ごみ量	資源化量		ごみ量	資源化量
28年度	1,222,240	863,164	583,050	280,114	359,076	304,912	54,164
21年度差	▲ 53,204 (▲4.2%)	▲ 69,669 (▲7.5%)	▲ 28,249 (▲4.6%)	▲ 41,419 (▲12.9%)	16,465 (4.8%)	▲ 13,517 (▲4.2%)	29,981 (124.0%)
21年度 (基準年度)	1,275,444	932,833	611,299	321,533	342,611	318,429	24,183

2 平成29年度取組方針

平成29年度削減目標 ごみと資源の総量 5%以上削減(平成21年度比)

平成29年度は、横浜市中期4か年計画及びヨコハマ3R夢プラン第2期推進計画の最終年度であるため、目標の達成に向け、市民・事業者の皆様との連携を一層深め、各取組を積極的に進めていきます。

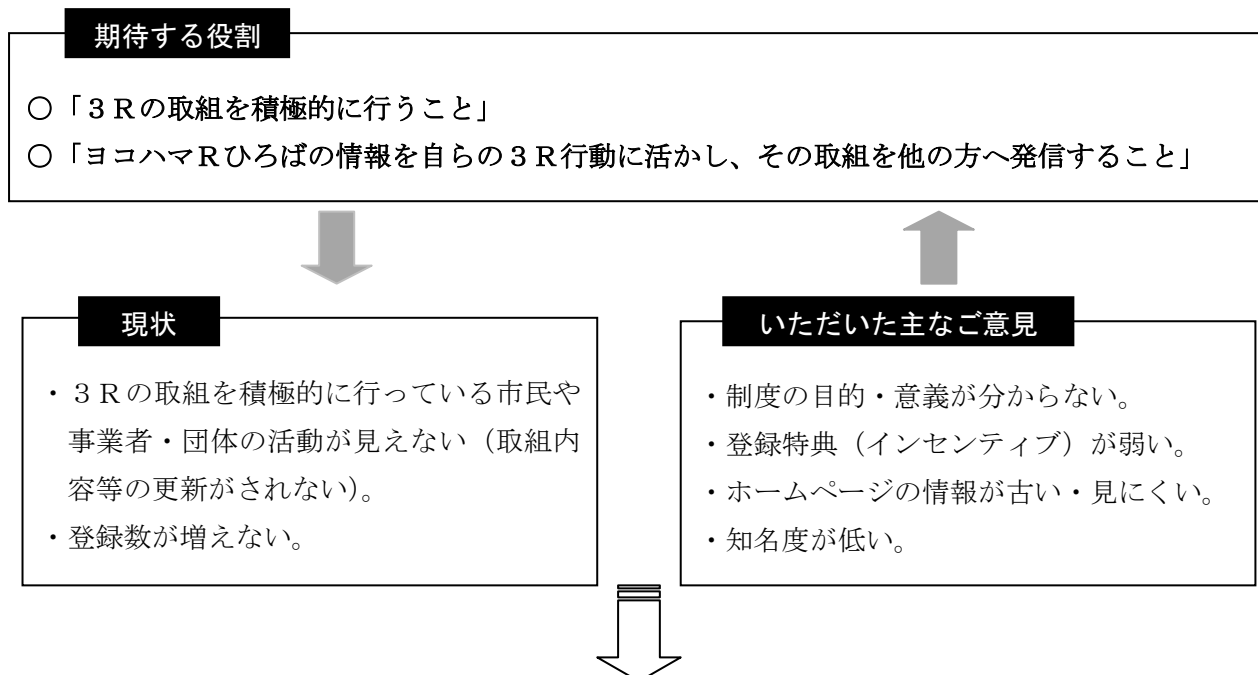
また、燃やすごみの中に多く含まれている生ごみ、特に、まだ食べることができるにもかかわらず廃棄されている食品ロスの削減に向け、市民・事業者の皆様のご価値観やライフスタイルに訴えかける取組を進めていきます。



燃やすごみに占める生ごみの割合

3R夢パートナー・サポーター改善案について

1 3R夢パートナー・サポーターに期待する役割について

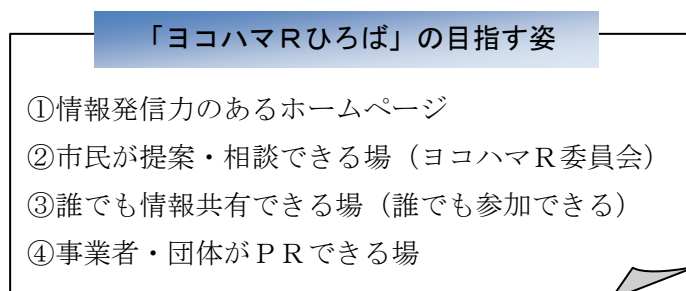


3R夢パートナー・サポーターが期待する役割を果たせるようにするためには、「Rひろば」から必要な情報を得られ、自身の活動を発信したくなるホームページになることが必要。そのために、「ヨコハマRひろばホームページの魅力アップ（再構築）」させる。

2 ヨコハマRひろば（ホームページ）の再構築の考え方

役割	機能	課題
情報発信	ブログ・メールマガジンの配信、取組事例の紹介ページ	・トップページが見にくい ・サイト構成が分かりづらい ・情報が古い
支援・マッチング	ヨコハマR委員会への提案	・市民からの提案が少ない
情報共有の場	3R夢パートナー・サポーターの取組紹介	・登録数が伸びない ・情報発信（登録内容の更新）が少ない

○今後、事務局で見直し項目を抽出し、各委員の方に御意見をいただきながら進めていきたいと考えています。



→目指す姿について、委員の方からご意見をいただければと考えています。

【参考】

1 第14回会議での主なご意見

- ・制度に登録して何をしてほしいのかが分からない
- ・どんな協力を求められているのか、登録した市民や企業の方とどのように協調していきたいのかが見えない。
- ・登録メリットが少ないなら登録特典を改善しないといけない。ただバーチャルで「いいね！」ができることがメリットになるかは疑問。パートナーへのインタビュー記事掲載も掲載本数の目標を掲げないと。
- ・Rひろばホームページは、文字も多く内容も堅いので、入りやすく親しみやすいページにすべき
- ・委員の中から少人数で検討チームを作ってはどうか

2 メールでのアンケートでいただいたご意見

【問1】事務局では、3R夢パートナー（サポーター）に3Rの取組を積極的に行い、その取組を発信することで、他の方の行動に繋がっていくことを期待していますが、現在、登録したものの取組の発信や情報の更新がない状況が多くみられます。このような状況になっている原因について、市民または事業者の視点からご意見をお聞かせください。

【ご意見】

- ・取り組みの周知や広報活動が見えてない。いろいろと行っているのかもしれないが、伝わっていない。
- ・当委員会でも方向性が見えていないため、何がやりたいのかわからないのではないかと感じます。もっと具体的なゴール（目的）があるとサポーター間の取組の情報発信ニーズが生まれると感じます。そのゴールも漠然としたものではなく、大ゴールと小ゴールに分かれていてリアルなゴールの方が良いと感じます。
- ・HPを見ても、こちら側の意図が見えなく、みんなでリデュースをして、横浜市民全員で、横浜をよくしようという雰囲気はなく、盛り上がりません。名前をもう1度、検討してみてもいいですか？事業者と個人を統一したほうがいい。個人的にはイーオの3R夢って、つけたらかわいいような気がしますけど・・・。
- ・情報発信の広報活動をもっと区民施設等で行なったらどうでしょうか。
- ・どれだけ多くの人に3Rを重要性を知らせるかですので、「3Rと市民生活等」の広報誌も必要かもしれません。

【問2】3R夢パートナー（サポーター）に、どのようなメリット（登録特典・活動内容）があると登録数の増加や活性化に繋がるとお考えですか。市民または事業者の視点からご意見をお聞かせください。

【ご意見】

- ・自らのアクションが何のゴールのためにどれくらい役立っているのかが、明確になる指標のようなものを設定してはいかがでしょうか。競うわけではなくみんなで積み上げることが見える化されていると楽しそうです。

- ・メリットの前に、もっと、内容をみなさんでとことん、話し合った方がいいと思います。事務局側も、人がたくさん変わっているので、どういう方向に行ったらよいか、考えあぐねている様子がうかがえます。私たちも含めてですが。現在のメンバーの意向を存分に出して、現在のカラーを出していったらいいと思います。
- ・メリットとしては、サポーターになった方が、情報をくれると、抽選で数名？にエコなグッズを進呈するとか、このお店にこんなものが・・とか、こんなことをやっているとかの、情報を寄せてもらい、今月のベスト情報として、載せるコーナーを作る。期間限定でもよいのでは。それがコンスタントに情報があれば、増えるような気がします。
- ・サポーターには、市民優待制度等がインセンティブになるかもしれません（市民施設の利用の優待券等）。
- ・温暖化対策本部にある YES 協働パートナーと連携して勉強会等開いてみてはどうか。

【問3】事務局では、本制度改善には「ヨコハマRひろば」ホームページ (<http://www.r-hiroba.jp/>) を多くの方が見て活用するようになることが必要と考えています。現在のホームページをご覧になって、多くの方が見たい、使いたいと思うページにするために必要なこと、欠けていることは何だと思えますか。市民または事業者の視点からご意見をお聞かせください。

【ご意見】

- ・ホームページの周知がなされていない。
- ・市民と事業者をつなげる役割を行政が担っているのであれば、もっとコーディネートが必要
- ・行政としてどのような活動がしたいのかわからない。
- ・やはり見に行く動機づけが重要と感じます。3R夢パートナー（サポーター）が一丸となって、何の社会課題を、どのような方法で、どれくらいの人が参加し、どこまで達成していて、ゴールには何が待っているか。こんなことがわかると見に行きたくなると思います。
- ・トップページにフリマの情報更新が載っていますが、更新しましたら、前の情報の帯？はいらないのではないですか？写真もぼけていて、同じものが掲載されています。1つのフリマをクリックしても、文字が先に出てきて、もう1回押さないと、フリマの情報にたどり着けないので、1回で情報を出てきた方がよい。見る側が面倒くさくなる。その次の3R情報も、ほぼ内容が同じですね。これも1本化できたらいいのでは？それと、大胆に、右の部分のブログ、イベント登録、3R夢パートナー募集などを、今のフリマ情報の部分へもっていき、交代したらどうでしょう？書き方は、イラストなどをおかわり入れてクリックしたら、詳細情報が出てくるように。それも文字だけではなく、楽しい雰囲気で作る。後半のメニュー一覧は右側でいいのでは？上にも帯があるので、いらないのではないのでしょうか？まるごと旬野菜をトップページに載せてください。ブログの記事では見つかりません。12月掲載のため。取り組み紹介も、ずいぶん古く、まるごと旬野菜も載っていません。
- ・イベント情報の登録画面をクリックすると、先に注意画面が大きく出てきて、登録意欲がなくなるような気がします。（注意・・・ではなく・・・なんでしょう、登録する前にお読みください・・・など、柔らかい表現がいいですね。それから→同意ボタンを押す。それと文章が固いですね。怒っているような感じを受けます。）
- ・次回の会議で、皆さんで、HPを見れる環境があり、1つずつみなさんで指摘していけば、いいと思います。

「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」活用事例
クッキングサポート実施報告

株式会社セブン&アイ・ホールディングス様のご協力により、「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」を使用した啓発を行いましたので報告します。

1 実施日時

平成 29 年 6 月 13 日 (火) 11 時～15 時 (横浜市ブース出展時間)

※レシピ試食は 12 日、13 日の 2 日間終日実施

2 実施場所

イトーヨーカドー立場店 (横浜市泉区)

3 実施内容

(1) 「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」からのレシピ調理・紹介

店内に設置されているクッキングサポートコーナーで、「まるごと旬野菜～使い切りレシピ～」に掲載されているレシピ (ラタトゥイユ、残り野菜で作るピクルス) を紹介し、実際に調理をしたものを試食提供してもらいました。

また、コーナー内に設置されているモニターで食品ロス削減動画を放送しました。





(2) 横浜市ブースの設置

一階のエスカレーター付近に資源循環局のブースを設置し、食品ロス削減のパネル掲出、啓発動画の放映をしながら、来店者に対しクッキングサポートコーナーでの使い切りレシピの紹介を行いました。



ヨコハマR委員会 食品と包装の関係

2017年6月28日

公益社団法人日本包装技術協会

平井 純一

目次

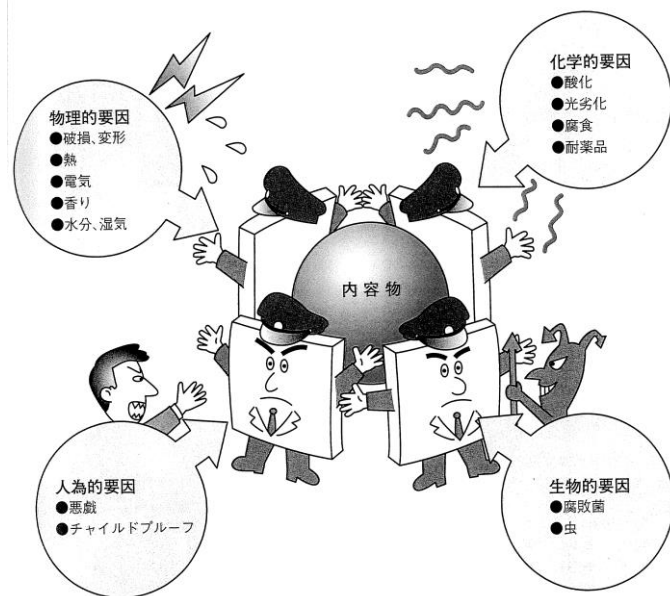
1. 包装の役割
2. 食品包装のキーワード
3. 食品包装のトレンド
4. 食品包装の機能強化例
5. 食品包装の安心・安全例
6. 食品包装の使いやすさ例
7. 食品包装の環境配慮例

包装の役割

包装の3大機能

- ①内容物の保護
- ②取扱いの便利さ
- ③情報の提供

●包装はガードマン=内容物の保護



●包装はヘルパー=取扱いの便利

- 運びやすい
- 積みやすい
- 置きやすい
- 使いやすい
- 開けやすい
- 閉じやすい
- 処理しやすい
- 見分けやすい



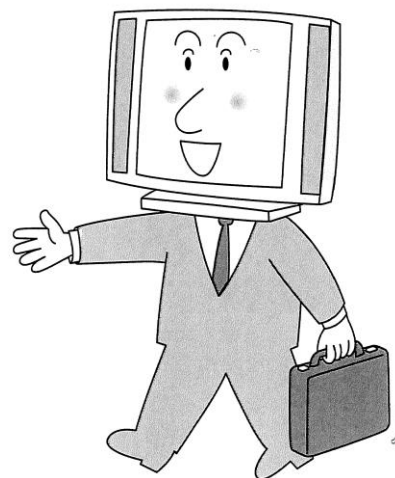
の機能に発展したといえる。

●包装はセールスマン・
コミュニケーター=情報の提供

目立ちやすさ → ●ブランドマーク
●ブランドカラー

表示内容

- 品名
- 用途
- 識別
- 内容物
- 特徴
- 期限
- 量
- 製造者
- 成分
- 取扱いの注意
- 販売者



食品包装のキーワード

社会環境の変化

- ◆ 人口構成の変化 ⇒ 高齢化、少子化、核家族化
- ◆ ライフスタイルの変化 ⇒ 多品種少量化、個食化
- ◆ 安全・健康的な食生活 ⇒ 健康・安全志向
- ◆ 電化・IT化 ⇒ 利便化される社会
- ◆ 労働形態変化 ⇒ 労働年齢の引き上げ
- ◆ グローバル化 ⇒ 国際的な標準化、適合性
- ◆ 販売チャンネルの変化 ⇒ コンビニエンスストアの拡大
- ◆ 環境配慮意識 ⇒ ごみ、節約意識

食品包装のトレンド

社会環境の変化にともなう包装キーワード

① 高機能性

アクティブパッケージ

(バリア性、微生物対応、香気や光の遮断)

② 安全・安心・衛生

品質保持、ロングライフ化、鮮度保持

③ 高齢者・障害者配慮

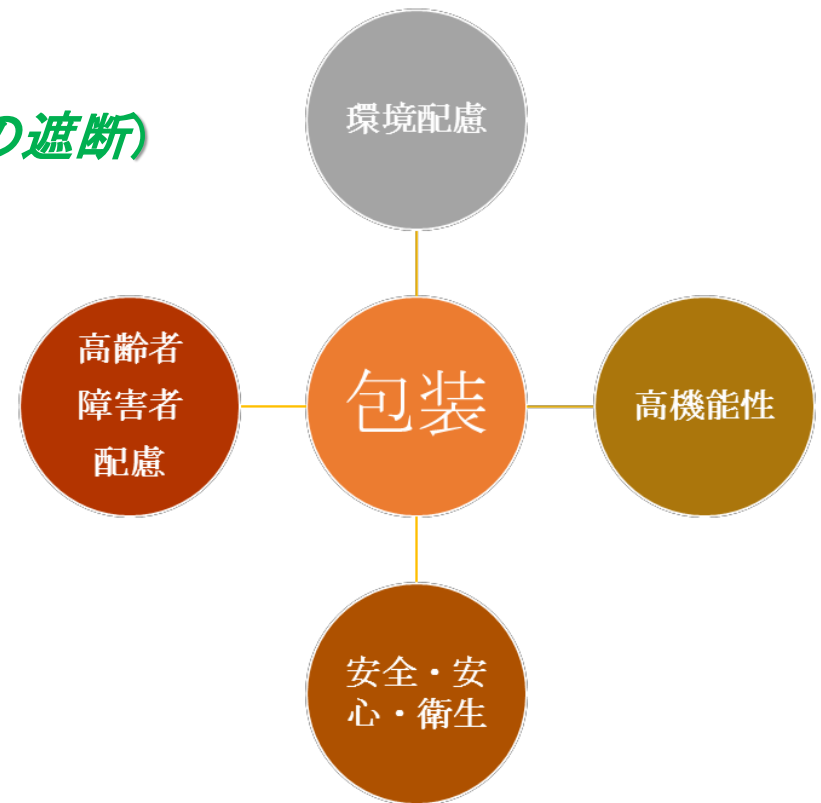
アクセシブルデザイン

使いやすさ

④ 環境配慮

3R環境配慮

(リデュース、リユース、リサイクル)



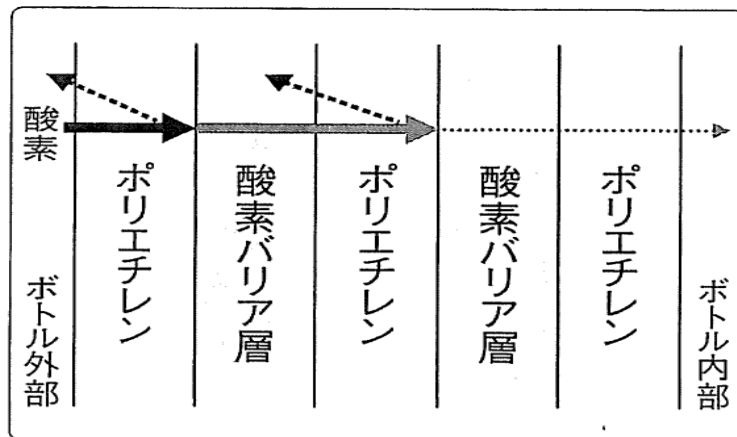
食品包装の機能強化例

アクティブバリアパッケージ [高機能性]

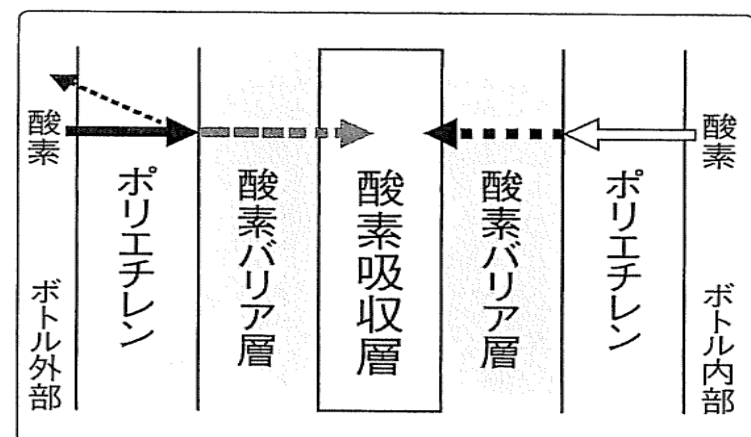
◆ アクティブバリアパッケージ(Active Packaging)は、
容器内外に透過する酸素を遮断する。

※従来のパッケージよりバリア性を高める。 ※マヨネーズのボトルに使用

アクティブバリアパッケージの概念図(一例)



Passive Packaging

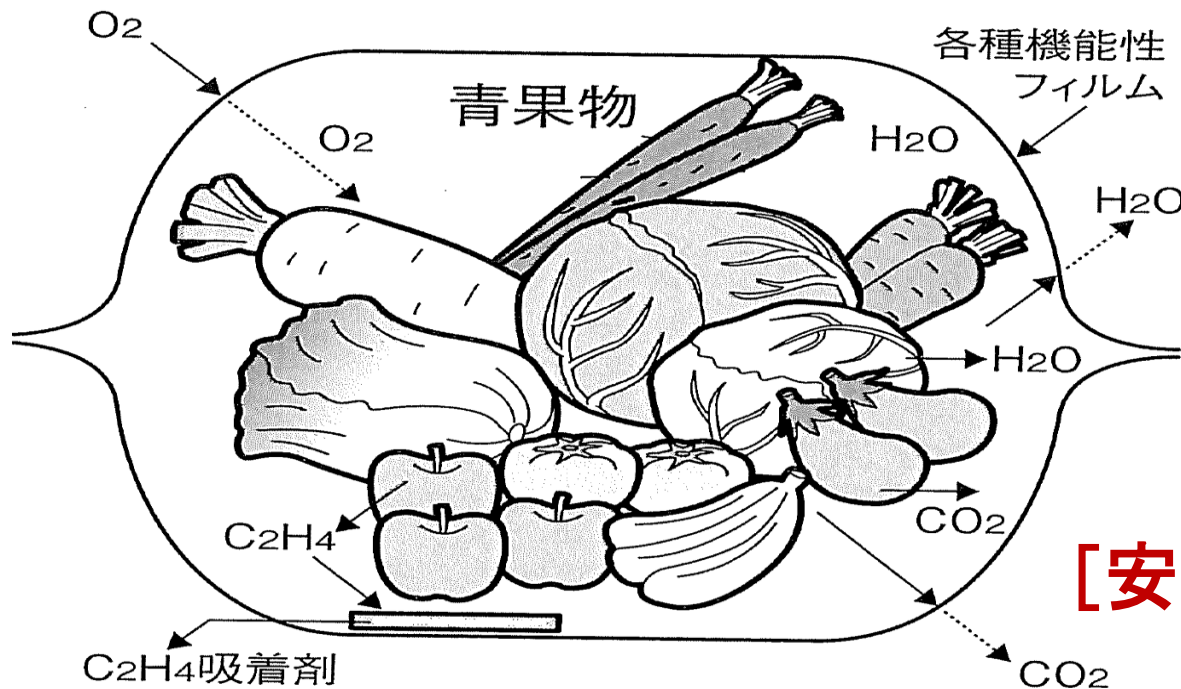


Active Packaging

食品包装の安全・安心例

青果物の鮮度保持包装・・・呼吸量を調整し

保存に適した状態にする包装



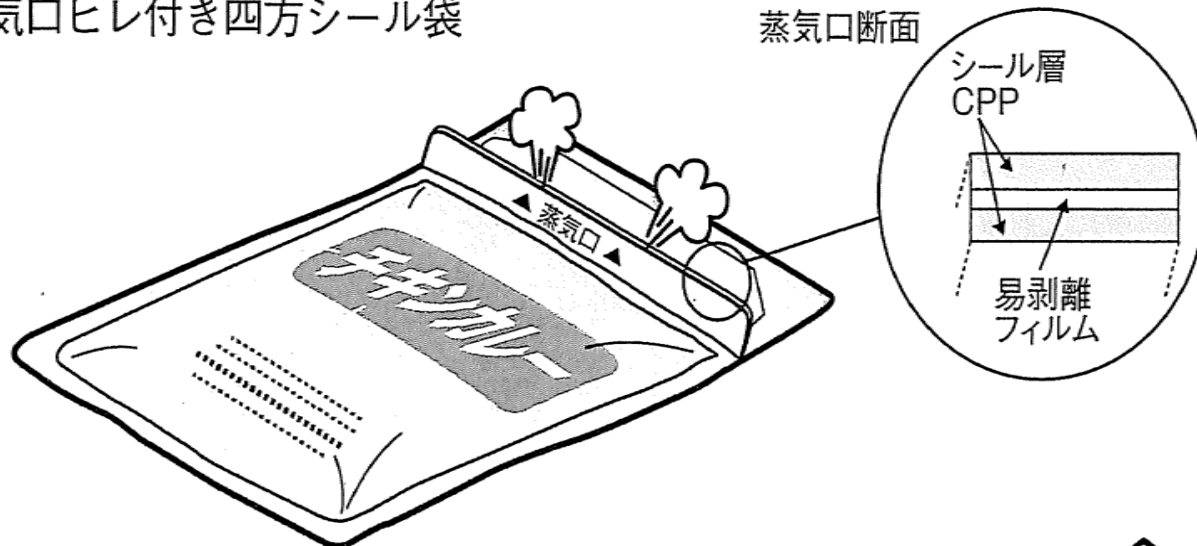
[安心・安全性]

食品包装の使いやすさ例

電子レンジ調理用に
なかみの蒸気を逃がす包装

[使いやすさ]

- 蒸気口ヒレ付き四方シール袋



食品包装の環境配慮例

生分解性プラスチック

[環境配慮]

- ・ 地中やコンポスト中で微生物の働きで分解するプラスチック
 - ・ 澱粉を原料とするものが多い。
- とくにトウモロコシ、イモ等の再生資源を使用は注目されている

バイオプラスチックを使用した卵のトレー



食品包装の環境配慮例

容器包装リサイクルマーク

包装材料の識別表示

[環境配慮]



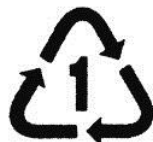
プラスチック製容器包装

(飲料・酒類・特定調味料用のPET
ボトルを除く)



紙製容器包装

(飲料用紙パックでアルミ不使用のもの
および段ボール製容器包装を除く)



PET

飲料・酒類・
特定調味料用のPETボトル



飲料・酒類用
スチール缶



飲料・酒類用
アルミ缶

食品ロス削減容器包装事例集

農林水産省食料産業局より平成29年4月11日に

「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」公表

- ① 食品廃棄物の発生量 : 621万トン/食用仕向け量 : 8,294万トン(平成26年度推計)
- ② 食品ロス削減に繋がる容器包装とは
46の事例を掲載

農林水産省事例集より

- 公益社団法人日本包装技術協会では、上記課題を
7月20日(木曜日) 10:30-12:00、JPI A会議室(東銀座)
農林水産省を講師として「食品ロスの削減と容器包装の高機能化」を開催
参加料: 一般の方で3,240円

参考 引用 文献

- ◆ 公益社団法人日本包装技術協会発行 平成26年10月
包装に関するキーワード解説集
- ◆ 公益社団法人日本包装技術協会発行 平成24年10月
包装…知っとく知識
- ◆ 日刊工業新聞社発行 2011年12月
機能性包装の基礎と実践 葛良 忠彦
- ◆ (株)サイエンスフォーラム 発行 2005年11月
必携 食品包装設計ガイドブック
- ◆ 農林水産省食品産業局バイオマス循環資源課 平成29年4月
「食品ロスの削減に資する容器包装の高機能化事例集」

びんリユースシステム横浜モデル概要

①リユースびんの製造

組合が取り組んでいる環境絵日記で出逢った、1つの作品をヒントに、飲料から調味料まで入れられる新しいリユースびんの開発に着手しました。



意匠登録出願中
意願2017-1356

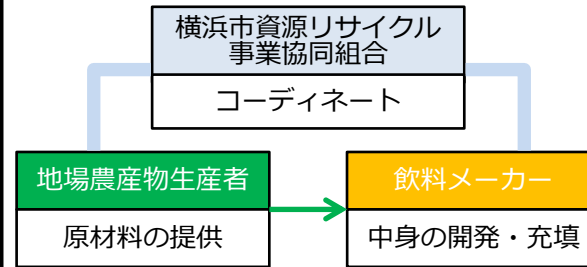
既存のリユースびんの識別マークでは消費者にとって認識しづらいものでありましたが、“リユースびん”というロゴの刻印を付けることで、誰もが一目でリユースびんと分かるびんを製作しました。

新リユースびん

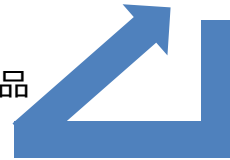


②中身の企画開発・充填

びんに充填する中身となる飲料は、地産地消をテーマとし、地場農産物生産者と消費者とを繋げ、販売業者に“生産者の顔が見える商品”という商品価値の創出をします。



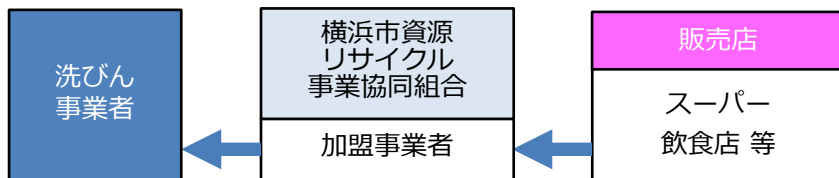
洗浄されたびんの納品



充填した商品

④空きびんの回収及び洗浄

組合加盟のびん商が販売店より空きびんを回収・運搬し、洗びん業者にて洗浄されたリユースびんが飲料メーカーにわたり、再度中身が充填されます。



空きびんの回収

③地域の消費者へ販売

地域の消費者が地域の農産物を使用した商品を地域の商店で購入することで地域経済の発展に繋がります。また、使い捨てではないリユースびんを使用することによりモノを大事にする気持ちを醸成します。



平成 29 年 6 月 22 日
資源循環局 3 R 推進課

保育園児が、トマトを通じて、食品ロス削減アクション 紙芝居「おひさまトマトのトマゴロウ」完成発表会のご案内

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）と横浜市は、平成 27 年 3 月に、持続可能なライフスタイルをめざし普及啓発を推進するため、連携協定を締結しています。

この連携協定に基づき、「食品ロス削減」をテーマとした紙芝居とリーフレットを共同制作しましたので、完成発表会を開催します。発表会では、紙芝居鑑賞のあと、園児たちが園庭で育てているトマトを収穫し、紙芝居中に登場する「おひさまスープ」を自ら調理・実食します。これにより、食べものの大切さを実感し、家庭における食品ロス削減の普及にもつなげていきます。

1 紙芝居の概要

題 名：おひさまトマトのトマゴロウ
監 修：わしおとしこ（児童文学者）
絵 画：やべみつのり（絵本作家）
脚 本：佐久間 浩子（WWF ジャパン）
ストーリー：主人公の「トマトのトマゴロウ」はなかなか食べてもらえないことに悩み、家を飛び出しました。八百屋や農家の人と出会い大切に育てられたことを知っていく話で、子どもたちへも食べ物を無駄にしない大切さを伝えることを目的としています。



2 リーフレットの概要

紙芝居を観た子どもたちが、家庭に持ち帰ってコミュニケーションをとるツールとして作成。紙芝居の趣旨や目的、あらすじ、おひさまスープのレシピ（紙芝居の中で登場する）などを掲載。子から親への啓発効果を狙います。



3 完成報告・実演日の概要

日時：平成 29 年 6 月 29 日（木） 10 時～12 時（予定）
会場：岸根保育園（横浜市港北区岸根町 6 8 5-1 2）
市営地下鉄「岸根公園」徒歩 10 分 市バス「六角橋中学校」徒歩 7 分
駐車場の御用意はありませんので、公共交通機関を御利用ください。
内容：紙芝居・リーフレットの完成報告、紙芝居の実演、3 R 夢（スリム）農園作業など

（イラストはイメージ）

4 本市の食品ロス削減の取組

本市の御家庭から出される燃やすごみには、年間約 87,000 トンもの食品ロスが含まれています。この食品ロスを減らすため、資源循環局では「冷蔵庫 10・30 運動」や「食材の使い切りレシピ」の普及など、御家庭での食品ロス削減の呼びかけを行っています。今年度は環境問題だけでなく、世界の食料事情や食育、地産地消などの視点を盛り込みながら、保育園等での出前教室など様々な機会を捉え、食の大切さを伝えることにより、自ら取り組んでいただけるよう訴えかけていきます。

（裏面あり）

5 取材について

取材を希望される方は、別紙取材申込書をご利用の上、6月27日（火）15時までにFAX又はEメールにてお申込みください。

保育園児のプライバシー保護の観点から、映像の撮影は御遠慮ください。また、静止画の撮影についても配慮をお願いしたい点がありますので、御理解をお願いいたします。詳細は、お申し込みいただいた方に別途お知らせいたします。

■取材の申込み先（WWF ジャパンでも同日発表のため、一括で受け付けます）

WWF ジャパン C&M 室プレス担当：山本、松岡 Tel: 03-3769-1714 Email: press@wwf.or.jp

6 WWF ジャパンと本市のこれまでの取組

(1) 地球温暖化対策の推進

- ・照明を消すアクションを通じて「地球温暖化防止」などへの意思を表明する国際的な環境キャンペーン「アースアワー」の本市開催。
- ・市内小学校や図書館等での「地球1個分の暮らし」をテーマにした環境教育出前講座やワークショップなどの実施。

(2) 生物多様性の保全

- ・野毛山動物園での「動物たちのSOS展」や中央図書館や都筑区役所などでのパネル展の開催。

(3) 循環型社会の構築

- ・**食品ロス削減に向けた幼児向けの普及啓発素材の共同制作。** ←今回発表事項

(4) その他、持続可能なライフスタイルの推進

- ・教育委員会の「ESD（持続可能な開発のための教育）コンソーシアム」への参画、助言。

■関連情報：横浜市とWWF ジャパンが環境分野において連携協定を締結

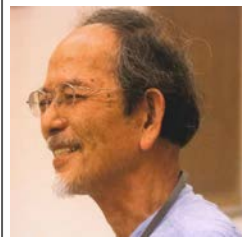
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ondan/press/h26/150319press.pdf>

7 参考



washio としこ プロフィール

東京生まれ。保育の仕事しながら、児童文学の創作を始める。動物大好き。作品には、ノンフィクション、ファンタジーあり、読み物、絵本、紙芝居と多岐にわたる。主な作品主な作品「どうぶつ目」など『ふしぎ発見シリーズ』5巻、「ねこたち町」（第48回課題図書/以上アリス館）。「まねき猫はまぬけ猫？」（リーブル）「ともだちをたすけたゾウたち」（教育画劇）「くちのあかないカビホポくん」（童心社）など多数。2014年第53回五山賞受賞。



やべ みつり プロフィール

1942年、岡山県倉敷市に生まれる。1977年から子どものための造形教室「ハラッパ」を16年間主宰。現在は、各地で、造形遊びや紙芝居作りのワークショップを開いている。絵本に『かばさん』（こぐま社）『あかいろくん とびだす』（童心社）などがある。紙芝居も多数手がけ、1996年第34回五山賞奨励賞受賞。

岸根保育園の取組

横浜市資源環境局港北事務所と協力し、ごみの減量化・リサイクルに積極的に取り組んでいます。園の裏庭で給食の野菜くずなどをコンポストでたい肥にし、これを利用して野菜を栽培する「3R夢（すりむ）農園」という本格的な畑を作っており、農園で育てた野菜を収穫し、調理して食べるなど、食育に積極的に取り組んでいます。

（写真提供：岸根保育園）



お問合せ先

資源循環局 3R推進課長 江口 洋人 Tel 045-671-2563

6月は環境月間！！ イオンで簡易包装推進キャンペーンを 開催します！！



横浜市とイオン株式会社は、平成 24 年 5 月 9 日に締結した「包括連携協定」に基づき、生鮮食品のバラ売りや詰め替え商品などの簡易包装商品の利用を進める取り組みを共同で行っています。

環境月間に合わせて、買い物からできる 3 R 行動を PR する、簡易包装推進キャンペーンを共同で行います。

※ 3 R とは、Reduce (リデュース：発生抑制)、Reuse (リユース：再使用)、Recycle (リサイクル：再生利用) の頭文字をとった循環型社会を構築していくためのキーワードです。

開催日 (啓発キャンペーン)



6 月 10 日 (土)

※開催時間は店舗ごとに
異なります。

開催場所 (市内イオン 7 店舗)

東神奈川店・駒岡店・横浜新吉田店・本牧店・
金沢八景店・天王町店・東戸塚店



店舗名 (所在地)・開催時間・啓発キャンペーン内容

店舗名 (所在地)	開催時間	啓発キャンペーン内容
イオン東神奈川店 (横浜市神奈川区富家町 1)	10:00~15:00	イーオ登場、3 R 夢カー展示、ごみ分別ゲーム、生ごみの水切り・食品ロス等のパネル展示 など
イオン駒岡店 (横浜市鶴見区駒岡 5-6-1)	13:00~15:30	イーオ登場、食品ロスアンケート、ごみ分別相談コーナーなど
イオン横浜新吉田店 (横浜市港北区新吉田東 8-49-1)	10:00~15:00	イーオ登場、キャラクターシール、ごみ分別相談コーナーなど
イオン本牧店 (横浜市中区本牧原 7-1)	10:30~14:00	イーオ登場、3 R 夢クイズ (マイバッグプレゼント)、ごみの分別相談コーナーなど
イオン金沢八景店 (横浜市金沢区泥亀 1-27-1)	10:00~14:00	イーオ登場、簡易包装アンケート (水切りネット等の配布) ごみの分別・食品ロス等のパネル展示 など
イオン天王町店 (横浜市保土ヶ谷区川辺町 3)	10:00~14:00	イーオ登場、ごみ分別ゲーム、ごみの分別・食品ロス等のパネル展示 お絵かきマイバッグなど
イオンスタイル東戸塚 (横浜市戸塚区品濃町 535-1)	11:00~15:00	イーオ登場、食品ロスに関するクイズ、ごみ分別相談コーナー、小型家電回収ボックスの設置など

全店舗取材可能です。取材の際は、直接各店舗へお越しください。

(裏面あり)

